

五小だより No.15



令和8年3月6日 館林市立第五小学校

6年生を送る会 ～6年生への感謝の気持ちを込めて～

2月26日(木)に、6年生を送る会を行いました。3年生は、事前に調査した6年生の好きなことを発表しました。「運動」「友だちと遊ぶこと」「作ること・食べること」などがあがりました。次に、金子みすゞさんの詩「わたしと小鳥とすずと」を歌いました。2年生は、お笑いコンビ「いつもここから」の代表的なネタ「悲しいとき～」で発表しました。そのあと、「うれしいとき～」では、「6年生が通学班でやさしくしてくれたとき」「休み時間や縦割りで一緒に遊んでくれたとき」など、感謝の気持ちを伝えました。1年生は、小学校でのあるある出来事や2回担任をした先生からのお手紙を発表しました。「友だちの頑張りを自分のことのように喜べる6年生だった」と、メッセージがありました。4年生は、「クラブで優しくしてくれてありがとう」「運動会でリーダーシップを発揮してくれてありがとう」など、伝えました。次に、ためになることわざや館林の人口の概数など、学習したことと関連させて発表しました。最後に、「365日の紙飛行機」を歌いました。5年生は、6年生にいろいろなところで助けてもらったことから、「6年生はアンパンマンみたいだった」とほめたたえました。終わりに、「伝統・優しさを引き継ぎます」「4月からは五小ヒーローとして思いやりの気持ちを大切に心も体も健康な五小をつくっていきます」と、力強く頼もしいメッセージがありました。最後の6年生は、6年間の思い出を劇やクイズ形式で発表しました。1年では、「分散登校」というこれまで経験したことのない登校の仕方を経験しました。他学年の子供たちは、教室へ戻ると担任の先生に、「分散登校ってなに？」といった質問をしたそうです。コロナ禍だった頃のことを考えると、今は様々な行事が当たり前のように実施できていることを改めてうれしく思いました。一人一台端末も、コロナ禍で進みました。次に、修学旅行に関するクイズで、2つの寸劇を見せ、「よい行動はどちらでしょうか」と問いかけがありました。正解を発表したあと、「先生方の話をよく聞いてルールを守って楽しんでください」と、よき伝統を引き継いでほしい思いを伝えていました。どの学年も工夫を凝らした出し物で、たくさんの笑顔が見られました。なお、この会の準備・運営は、5年生が中心となって頑張りました。立派な6年生になってくれることと思います。ありがとうございました。

リコーダー講習会 2年

3年生になると、音楽でリコーダーの学習があります。その準備として、リコーダーの講師をお招きして、講習会を行いました。リコーダーをもって指の使い方を習った後、音を出してみました。全員の音がきれいにそろいました。

パンジー植え 1年

生活科の時間に、パンジーを鉢に植えました。「お花がきれいに咲き続けますように」と、やさしくお水をあげていました。

音楽クラブの発表

3月2日（月）に、今年度の集大成として、曲「こんにちはトランペット」と、「ライラック」を披露しました。大勢のギャラリーのいる中、堂々と演奏していました。憧れた下級生もたくさんいたことでしょう。

写真は省略しています